

10月5日午後3時発表の予定につき  
それまで取り扱い注意

## 2021年度デミング賞各賞の受賞者について

2021年10月5日

デミング賞委員会(委員長 十倉 雅和)は、10月5日(火)14時から経団連会館(東京・大手町)において委員会を開催し、2021年度デミング賞各賞の受賞者を決定しました。

デミング賞委員会  
委員長 十倉 雅和

本件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

デミング賞委員会

(一般財団法人 日本科学技術連盟内)

なかじま のりひこ  
セクレタリー：中島 宣彦

たかとり けん はら なおこ  
事務局：高取 健、原 奈穂子

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 1-2-1

TEL：03-5378-1212(デミング賞委員会事務局)

携帯：080-8909-2552(10/5、10/6の連絡先)

FAX：03-5378-1227

E-MAIL：demingprize@juse.or.jp

URL：<http://www.juse.or.jp/deming/> (日)

[http://www.juse.or.jp/deming\\_en/](http://www.juse.or.jp/deming_en/) (英)

## 2021年度(令和3年度) デミング賞 各賞受賞者

2021年度(令和3年度)のデミング賞各賞の審査は、デミング賞委員会の各委員会において本年3月から9月にかけて行われてまいりましたが、本年10月5日開催のデミング賞委員会において以下のとおり受賞組織ならびに受賞者が決定いたしました。

新型コロナウイルス感染症予防対策の観点から、本年度授賞式は、11月10日(水)16時00分から東京・大手町の経団連会館において、受賞者ならびに授与関係者のみで行い、授賞式の様子をライブ配信することで広くご視聴いただく形式とします。

授賞式に引き続き、例年行われていた受賞記念祝賀会は開催を見合わせます。

また、授賞式に先立って、11月10日(水)13時00分から、受賞者による受賞報告講演会が同会場で行われます。

### 受賞者

#### 1. デミング賞大賞

##### 株式会社オティックス

(代表取締役社長 お だ い ゆう き 小田井 勇樹 氏)

#### 2. デミング賞本賞

つばき ひろえ  
椿 広計 氏

大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 理事

大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 統計数理研究所 所長

(1956年生, 64歳)

#### 3. デミング賞

##### トヨタ紡織株式会社 刈谷工場およびユニット生技センター

(ユニット部品事業本部 本部長 さかきばら まさみ 榊原 正己 氏)

## 受賞者参考事項

### 1. 2021 年度デミング賞大賞

#### 株式会社オティックス

代表者名：小田井 勇樹 氏（代表取締役社長）  
所在地：愛知県西尾市中畑町浜田下 10 番地  
TEL：0563-65-2317  
事業内容：自動車用エンジン機能部品の製造・販売  
売上高：586 億円  
従業員数：1,686 名（2021 年 8 月末現在）

#### [受賞理由]

同社は、自動車用エンジン機能部品の製造・販売会社である。1918 年小田井鉄工所として創業、1949 年小田井鉄工所株式会社を設立、1992 年株式会社オティックスに社名を変更した。従業員数は 1,686 名（2021 年 8 月末現在）、2020 年度国内売上高は 586 億円である。

同社は、2018 年度にデミング賞を受賞した。自動車業界における 100 年に一度の大変革期にあって、イコールパートナーと評価される開発提案型企業への成長を目指す拡販戦略マネジメント、新規分野への挑戦の実現を目指す新規製品販売戦略を策定し、新製品開発・新技術開発活動・超ダントツ品質保証活動を核とした全員参加の TQM を推進している。

以上の活動の効果として、売上高、新規受注高、新規引き合い件数、品質保証度評価点などは目標を大幅に達成し、市場クレーム・ゼロと S・A 欠点・ゼロを達成している。

### 2. 2021 年度デミング賞本賞

つばき ひろえ  
**椿 広計 氏**

大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 理事  
大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 統計数理研究所 所長

(1956年生, 64歳)

#### [受賞理由]

椿広計氏は東京大学大学院修士課程修了、同大学院より工学博士を授与。筑波大学教授等を経て、現在、データサイエンス研究推進をミッションとする情報・システム研究機構理事統計数理研究所長として活動。TQM(日本的品質管理)の考え方を原点に、

(独)統計センター理事長を含む7府省17の部会長・座長等や日本品質管理学会を含む5つの学協会の会長・理事長に従事。既に100万人以上の受検者を輩出した品質管理(QC)検定の創成を通じた統計的品質管理教育の普及、官庁統計の集計プロセスの品質保証の確立と収集した調査票個票を広く研究者が利用できる仕組みの構築、医薬品許認可における臨床試験で消費者危険を最小にする統計的方法に関するシステムの提案とそのわが国薬事審査への実装、統計的方法等の管理技術を新製品開発プロセスに適正利用するための国際規格の原案作成等を通じてTQMの社会基盤の構築と整備に貢献した。

### 3. 2021年度デミング賞

#### **トヨタ紡織株式会社 刈谷工場およびユニット生技センター**

代表者名：榊原 正己 氏 (ユニット部品事業本部本部長)

所在地：〒448-0848 愛知県刈谷市豊田町 1丁目 1番地

T E L : (0566)26-0440

事業内容：自動車用フィルターおよびパワートレーン機器部品の製造

従業員数：1,448名

#### [受賞理由]

トヨタ紡織株式会社刈谷工場は吸気系/フィルター系等のユニット部品の生産を、ユニット生技センターは工程計画/生産準備/技術開発を担っている。同組織は、CASEなどの外的環境変化に直面し、将来への事業継続に不安があった。これを打破するため2016年にTQMを導入、2018年に日本品質奨励賞TQM奨励賞を受賞した。強みを活かした新たな事業軸の開拓を基本に2025年の目指す姿を策定したが、工場だけでは必要な組織能力の獲得は困難と考え、2018年末、同センターも巻き込んで新たなTQM活動をスタートさせた。

この活動の特徴は、①方針管理を有効化する様々な工夫、②顧客の懐に飛び込んで顧客情報を収集する工夫、③人・組織の能力やTQM活動レベルを一体評価する仕組み構築などが挙げられる。

この結果、組織能力や目標方策同時達成比率など顕著な効果が現れ、経営課題であった新製品売上げ、限界利益率、納入不良等の目標も達成し、2025年の目指す姿もほぼ見通せるレベルにあり、今後の飛躍が大いに期待できる。

2021年度(令和3年度)  
日経品質管理文献賞 受賞者

デミング賞委員会は、本年10月5日開催のデミング賞委員会において  
2021年度日経品質管理文献賞の受賞者を下記のとおり決定いたしました。

授賞式は、11月10日(水)16時00分から東京・大手町の経団連会館において  
デミング賞授賞式とあわせて行われます。

受賞文献 5件

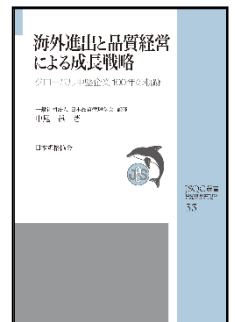
「JSQC選書33

海外進出と品質経営による成長戦略：グローバル中堅企業100年の軌跡」

中尾 眞 著

発行所：一般財団法人 日本規格協会

出版：2020年10月



「上手な機械学習と統計的品質管理の使い方入門

JUSE-StatWorksによるこれからのものづくりに必要な両利きのデータ分析」

渡邊 克彦 著

発行所：株式会社日科技連出版社

出版：2021年3月



「JSQC 選書 32

生産管理-多様性と効率性に応える生産方式とその計画管理」

高橋 勝彦 著

発行所：一般財団法人 日本規格協会

出版：2020年10月



「調達品の品質確保 ありたい姿と現実のギャップを埋めるために」

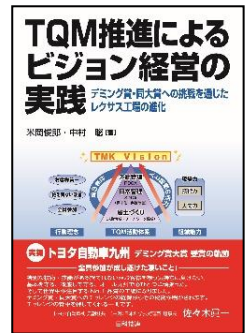
鱈谷 佳和 著

発行所：株式会社日科技連出版社

出版：2020年9月



「TQM 推進によるビジョン経営の実践  
デミング賞・同大賞への挑戦を通じたレクサス工場の進化」  
米岡 俊郎・中村 聡 著  
発行所：株式会社日科技連出版社  
出版：2020年7月



## デミング賞・日経品質管理文献賞の説明資料

### I. デミング賞とは

1. 「デミング賞」は、統計的品質管理の工業への応用において終戦後、たびたび指導のため来日された米国人故 W.E.デミング博士(1900～1993)の友情と業績を記念し、わが国の品質管理の一層の発展を図るため、日本科学技術連盟によって1951年(昭和26年)に設けられたものであり、今年で創設71年を迎えました。

また、「デミング賞大賞」は、日本科学技術連盟が、1969年(昭和44年)10月東京で開催した世界初の品質管理国際会議を記念し、その意義を永く将来にわたって維持高揚するとともに品質管理の一層の発展をはかるために創設されたものであります。

企業・組織を対象とする「デミング賞」「デミング賞大賞」は、応募した組織について審査が行われ、授賞を決定いたします。

デミング賞委員会の経費は、一般財団法人日本科学技術連盟によって負担されています。

### 2. デミング賞の種類

「デミング賞本賞」、「デミング賞普及・推進功労賞(海外)」、「デミング賞」、「デミング賞大賞」の4つがあります。

### 3. 授賞の対象

賞の種類	賞の概要	対象
(1) デミング賞本賞	1) 総合的品質管理(Total Quality Management、以下TQMという)の研究に関し優れた業績のあった者。 2) TQMの普及に関し優れた業績のあった者。	個人
(2) デミング賞 普及・推進功労賞 (海外)	TQMの普及・推進に関し、優れた業績のあった者。 ただし、候補者は、主たる活動が海外に限定される者に限られる。(原則として3～5年ごとに選考が行われる)	個人 (海外)
(3) デミング賞	経営理念、業種、業態、規模、経営環境にふさわしいTQMが効果的に実施されている応募組織に授与。(年度賞)	企業・組織
(4) デミング賞大賞	デミング賞を受賞した組織のうち、受賞後3年以上を経過しており、受賞後もTQMにおいて優れた成果をあげた応募組織に授与。(年度賞)	企業・組織

## II. 日経品質管理文献賞とは

日経品質管理文献賞は、「TQM」またはそれに利用される統計的手法等の研究に関する文献(数値表やソフトウェアをとまなう文献を含む)で、品質管理の進歩、発展に貢献すると認められる優秀なものを表彰するため、日本経済新聞社により、1954年に創設されました。この賞の審査はデミング賞委員会において行われ、デミング賞行事の一環として毎年賞の授与が行われています。

### 推薦または応募の資格

日経品質管理文献賞は、日本語で書かれた文献、または、日本を主たる活動の場としている著者の文献で、次に掲げる文献の作成者に授与されます。

- a) 「TQM」またはそれに利用される統計的手法等の研究に関する文献(数値表やソフトウェアをとまなう文献を含む)で、品質管理の進歩、発展に貢献すると認められるものを対象とします。
- b) 対象文献は、原則として、前年の7月1日から当年の6月30日までに公表されたものです。

## デミング賞/デミング賞大賞の累積受賞者(組織)数

### 1. デミング賞本賞

[1951年(昭和26年)以降2021年(令和3年)までの受賞者数] 84名

### 2. デミング賞普及・推進功労賞(海外)

[2009年(平成21年)以降2021年(令和3年)までの受賞者数] 4名

### 3. デミング賞

[1951年(昭和26年)以降2021年(令和3年)までの受賞組織数] 延259組織

#### (a) デミング賞

36組織(うち海外21組織)

※2012年度の賞の名称変更以降の数

#### (b) デミング賞実施賞中小企業賞(1994年まで)38組織

#### (c) デミング賞実施賞事業部賞(1994年まで) 5社5事業部

※1995年からデミング賞実施賞中小企業賞およびデミング賞実施賞事業部賞という名称は廃止され、デミング賞実施賞に一本化されました。

#### (d) デミング賞事業所表彰(2009年まで) 16社20事業所(うち海外3社3事業所)

※2010年からデミング賞事業所表彰はデミング賞実施賞に一本化されました。

#### (e) デミング賞実施賞(2011年まで) 延160組織(うち海外35組織)

※2012年から「デミング賞実施賞」を「デミング賞」に名称変更しました。

### 4. デミング賞大賞

[1970年(昭和45年)以降2021年(令和3年)までの受賞組織数] 延32組織

(再度の受賞組織2組織、海外11組織を含む)

※2012年から「日本品質管理賞」を「デミング賞大賞」に名称変更しました。

### 5. 日経品質管理文献賞

[1954年(昭和29年)以降2021年(令和3年)までの受賞件数] 252文献